

# Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-8501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； http： //www.rotary-suzuka-west.org/

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12： 00； 例会： 12： 30-13： 30；



## 第 1618 回例会 2019 年 10 月 8 日(火)

例会場： 鈴鹿商工会議所 4 F 大ホール

例会進行： 岸本春雄 副 S A A

開始： 12： 30 終了： 13： 30

点鐘： 会長 服部高宣

ソング： 我らの生業

ソングリーダー： 勇 理維子会員

### 会長挨拶 服部高宣 会長

今日は、米山月間に因んで、川戸会員にお話を頂きます。よろしくお願ひ致します。

7 月 27 日-28 日、モンゴルの首都ウランバートルにて、米山学友による第 2 回世界大会「絆 in モンゴル」が開催されました。式典には、世界 16 の国、地域出身の学友、ロータリアン、その家族など、総勢 548 人が登録。日本を含め、モンゴル以外からのゲストが 383 人、モンゴル国内の学友や家族、ロータリアン、来賓が 165 人と、これまで以上の盛大な会となったようで、この式典の様子は、当日のモンゴル国内のニュース番組で報じられ、ロータリーと米山記念奨学事業の PR にも繋がりました。

掲げたテーマの通り、国を越えた米山の“絆”の強さを感じた今回の素晴らしい大会については、『ロータリーの友』10 月号のよねやまだより「米山月間特集」でも詳しく紹介されるようです。

2012 年に行われた日韓親善会議で、「日韓関係

では困難なこともあるが、一人ひとりが交流を深めていくなかで、その輪が広がれば広がるほど、虹の 7 色の間を繋いでいる色は強く結ばれるようになっていく」とスピーチをした米山学友であり東京米山ロータリー E クラブ 2750 の会員でもある韓国人女性に惜しめない拍手が贈られたことがあったと言う記事を読んだことがあります。

彼女のスピーチの中にもありますが、虹の色や種類や数は国によって違います。日本、韓国、オランダなどでの虹は 7 色、イギリス、アメリカは 6 色、フランスは 5 色、ロシアは 4 色、今回の世界大会が行われたモンゴルでは 3 色だそうです。

また、私達は 7 色で出来ていると言う先入観に囚われて見ている為、7 色の間に存在している色に気付いていません。細かく見たら、もっともっと沢山の色で出来ているように見えるかもしれません。

彼女は、この 7 色を国に例え、7 色の間を繋いでいる色の様に、世界各国は切っても切れない何かの絆で繋がっていて、その絆は一人一人の交流から始まるものであると述べていました。

7 色と言う大きな色の配列が国家レベルの繋がりがらば、その間にある、名前の付け難い色は、私達一人ひとりの繋がりのようなものであり、しかしこのような交流こそが 7 色を繋ぐ上ではとても大切な役割を果たしているということだと思います。

眼に見える大きな物や出来事だけが大切なわけ

ではなく、小さなことの積み重ねこそが大きな力になると言うことや、先入観に囚われすぎて正確に見ていないことがあると言うことなど、初心に帰らされるスピーチでした。彼女のスピーチは詩で締めくくられていましたので、私も、その詩の紹介を以て挨拶とさせて頂きたいと思ひます。

**口は愛を伝えるためのもの。**

**口は言葉なくしても人を幸せにできるもの。**

**手は人へ温もりを伝えるためのもの。**

**手は人の温もりが必要な人に手を差し伸べるためのもの。**

**手は手と手をつないで、一緒に歩いていくためのもの。**

**足は歩み寄るためのもの。**

**足は困っている人の所に行けるようにしてくれるもの。**

#### 幹事報告 勇 理維子 副幹事

1.当クラブ例会変更のお知らせ

11月5日(火)祝日を含む週につき休会

11月19日(火)祝日を含む週につき休会

2.2018-19年度活動報告書が出来上がりました

たので配布してございます。

3.日本のロータリー100周年記念バッジが届きましたので、ご注文いただきました方のトレイに配付してございます。

4.ロータリー米山記念奨学会から、2019-20年度版 豆辞典が届きましたので配布してございます。また、地区米山記念奨学部門委員会 村瀬祐治委員長より例会で回覧の依頼がありました「2018-2019年度米山奨学寄付クラブ別明細及び2019-2020年度米山奨学生世話クラブ所属一覧」を各テーブルに2部ずつ配布してありますのでご一覽ください。

5.2019年9月台風15号災害義援金ご協力のお願いが地区ガバナー事務所より届いております。

6.本日例会終了後、第7回理・役員会を事務局において開催いたします。

#### 服部会長と勇副幹事



#### 委員会報告

\*深谷公園(10/29)例会案内

服部高宣 会長

\*創徳中学校出前職業講座の報告

河田勝正 会員

例年恒例になった講師派遣(出前講座)は従来ガバナー補佐が鈴鹿市教育委員会との協議のもとに中学校長の要望を取入れて開催される。

令和元年10月7日(月)13:40~14:45(於)創徳中学校第二学年6クラスにて講義。

私はまず自己紹介を始め河田「姓」は木曾三河附近で農業に従事。日本人は農耕土着民族であり、欧米人の狩猟民族との対比を行ない環境と生活習慣の違いは文化等ものごとの見方、考え方即ち人生観・世界観(哲学的思考)の相異を導き出す。「名」は勝正は戦前(第二次世界大戦)生まれは、戦争に勝つ、そして正しくという様に「名」は社会的背景を見る事が出来る。

次いでロータリークラブから派遣。

ロータリーとは何か？日本的理論として把握すれば「自己の職業」を通じて「地域社会」へ「奉仕」することを目的とする団体・組織である。（組織理論、制度論）

更に要望書、講演内容は①～⑥である。

①現在の仕事の内容と選んだ理由 ②仕事をしていて楽しいこと・辛いこと ③仕事に必要な資格や適正 ④社会人として大切な事 ⑤社会に出る中学生への言葉 ⑥質疑応答

仕事はNATO 北大西洋条約機構でなく No Action Talk Onlyではダメ、ヤルカヤランかの世界であり、勉学に於いても同様である。そこには集中力を要するものである。



**\*ゴルフ部会案内 加藤 稔ゴルフ部 部長**



**出席報告 桃井力生 出席委員**

正会員 39 名中 24 名出席。出席率：68.57%



## ニコニコボックス報告

岩崎 透 親睦・家族副委員長



順不同・敬称略

服部高宣：川戸委員長、卓話よろしくお願い致します。

野間芳実：河田会員、衣斐会員には、創徳中学校への出前講座への講師派遣では大変御世話になり有難うございました。

川戸広樹：本日、米山月間で卓話をします。よろしくお願い致します。

## 本日のプログラム

「米山月間に因んで」

川戸広樹 米山記念奨学会委員長



## 米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー**独自の事業** (日本全国34地区の合同活動)
- 日本で学ぶ**外国人留学生の支援** (公益財団法人を設立し運営)
- **世話クラブ・カウンセラー制度**で交流を重視

## 事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RCが事業構想 **米山基金** “**平和日本**”を世界へ (日本の友人を増やし **平和を** 実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立



## 国際ロータリーと米山

- 2002** ロータリー研究会のプログラムに
- 2004** RI理事会で米山記念奨学事業が賞賛
- 2007** ロータリーの多地区合同活動手続きが完了
- 2014** 国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「**ロータリーの学友**」に
- 2016** ソウル国際大会で初の分科会開催

# 米山奨学金 と 奨学生

# 寄付金の状況

## 奨学生数の決定と選考

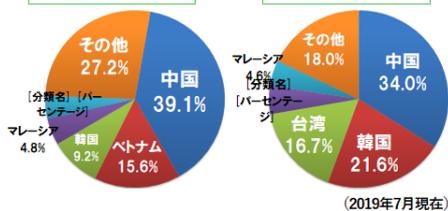
### 採用基準 (全国統一)

- ・ 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外



## 国内最大級の奨学生数

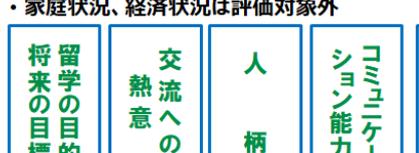
2019学年度 **868人** 累計**21,023人**  
 新規638人 / 継続230人 129の国と地域



## 奨学生数の決定と選考

### 採用基準 (全国統一)

- ・ 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外



## 当地区の米山奨学生

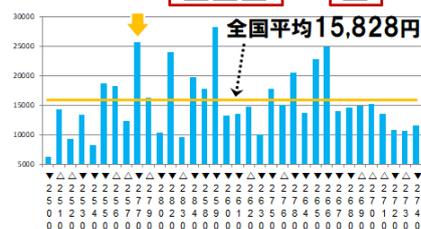
2019学年度：**21人**  
 2020学年度：**21人** 予定

【出身国・地域】  
 中国、○○、○○、○○



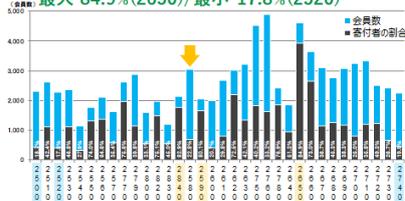
## 寄付実績 (個人平均)

平均寄付額 **15,828円** (位)



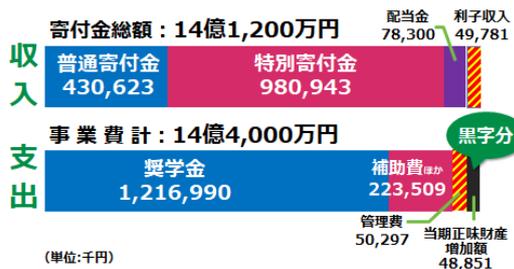
## 寄付実績 (特別寄付者割合)

全国平均 46.9% 当地区 **12.9%**  
 最大 84.9%(2650) / 最小 17.8%(2520)



## ご寄付は奨学事業に

寄付は前年度から2千万円減



# 巣立った 米山奨学生

## 学友会（国内33、海外9）



## 学友会の活動【海外】



## 巣立った奨学生の活躍

- ロータリアンになった学友 **238**人
- ガバナーになった学友 **3**人
- 学友が中心となって設立したロータリークラブ **5**つ



## 恩返しの気持ち

- 東日本大震災 **約760万円**
- 熊本大地震 **約20万円(上海)**
- 学友からの寄付 **累計 3,530万円**
- 遺言寄付 **大口寄付**



“ 知っておいて いただきたい事 ”

## 奨学生に関わる危機管理

自然災害 病気・事故 ハラスメント



地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応

地区単位のLINEグループ等	2020学年度より現役奨学生の傷害保険 (例会出席時)	奨学生→ハラスメント相談窓口 ロータリアン→賠償責任保険
----------------	-----------------------------	---------------------------------

## 紺綬褒章の公益団体に認定

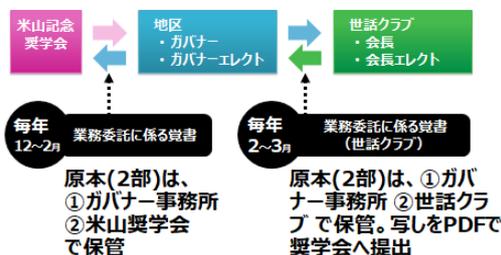
- 2018年9月12日以降のご寄付が対象
- 個人：500万円～  
団体/企業：1,000万円～
- 分納可 (事前の申請が必要)



内閣府ホームページより

## 業務委託・覚書の締結

- 2020学年度からスタート



会報発行担当：奥村隆司